

全国ボランティアコーディネーター 研究集会 2009

～TSUNAGU～ 超えるコーディネーションで社会を変える

全国ボランティアコーディネーター研究集会は、今回で15回目を迎えます。これまで本研究集会は、参加者の多様化、多分野化、多領域化をすすめ、一定の成果を挙げてきました。今回は、その多様になった参加者も皆さんと共に、分野を超えたつながりや領域をまたいだ関係作り、異なるものをつなぐことによって、新しい価値観、新しい文化を作り出す可能性を考えてみたいと思います。参加者の皆さんそれぞれ分野や領域に特有な課題や悩みを、「超える」ことによって解決につながる可能性を一緒に考えていく機会にしたいと考えます。本研究集会はボランティアコーディネーションに携わる人々が、全国から、また分野を問わずに集う日本でも数少ない集会です。ぜひ、活動分野や立場を超えた活発な議論の場として、また知識や技術をより一層磨く機会として、活用していただきたいと思ひます。

なお、今回から過去4回にわたって同時開催してきた「基礎・入門編」を切り離し、一定の実践経験を積んだ参加者のみの研究集会とし、各分科会ではこれまでより一層踏み込んだ議論や協議をしていただくことを目指しています。

最後に、1994年の初回以来、一貫してボランティアコーディネーションに携わる(あるいは、その養成に関わる)実行委員による手作りの集会であることを申し添えておきます。

■開催日 2009. 2. 28(土)―3. 1(日) 定員 230 人

■参加費 一般 12,000円 JVCA 正会員・準会員 10,000円

■会場 福祉保健研修交流センター ウィリング横浜 (神奈川県横浜市)

■対象 以下のような分野で実践経験を積んでいる方、分科会のテーマで課題意識を持って参加できる方

- ・ 環境、国際交流・協力、教育、福祉・介護、まちづくり、災害救援などのNPO・NGOで、ボランティアのコーディネーションを担当しているスタッフ
- ・ 高齢者、障害者、児童関連福祉施設で、ボランティアの受け入れ担当をしているスタッフ
- ・ 病院、医療関連施設でボランティアの受け入れ担当をしているスタッフ
- ・ 図書館、博物館、水族館、動物園などの社会教育、文化芸術施設などの施設でボランティアの受け入れを担当しているスタッフ
- ・ 小・中・高等学校、大学、短大などの教育機関で、学生・生徒のボランティア・体験学習等を推進する担当をしているスタッフ(教職員、学生等)
- ・ 企業や労働組合などで、社員・組合員のボランティア活動推進を担当するスタッフ
- ・ ボランティアセンター、NPO・NGO支援センター、国際交流協会のボランティア担当スタッフ
- ・ ボランティアコーディネーター又はボランティアコーディネーションの研究及び研修・養成にかかわっている方

■主催 全国ボランティアコーディネーター研究集会 2009 実行委員会
特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会(JVCA)

■共催 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

■後援 社会福祉法人全国社会福祉協議会/社会福祉法人中央共同募金会/特定非営利活動法人日本NPOセンター/財団法人日本YMCA同盟/特定非営利活動法人国際協力NGOセンター/日本経団連1%クラブ/財団法人自治体国際化協会/財団法人児童健全育成推進財団/東京ボランティア・市民活動センター/社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会/社会福祉法人川崎市社会福祉協議会

■協力 社会福祉法人世田谷ボランティア協会/ 地球環境パートナーシッププラザ

■事務局 全国ボランティアコーディネーター研究集会 2009(JVCC2009)実行委員会事務局
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-13 七福ビル 32 号室 日本ボランティアコーディネーター協会内
TEL.03-5225-1545(火～土 10:00～19:00) FAX.03-5225-1563
E-mail jvcc2009@jvca2001.org URL <http://www.jvca2001.org/>

申込締切日
2月7日(土)

―1月5日(月)～申込み受付開始します―

●プログラム●

2月28日(土)《第1日目》

10:00 受付開始

10:30 開会・オープニング全体会

人が地域で生きるためのコーディネーション ～つながる・超える・創ることで見えて来たこと～

12:00 オリエンテーション

12:30 昼食休憩

13:30 **分科会A**

A-1 ボランティアマネジメントAtoZ(2日間コース)～それってみんなは具体的にどうしてるの?～

*この分科会は基礎をじっくり学ぶ2日間で1プログラムの分科会となります。

A-2 中間支援組織のボランティアコーディネーションAtoZ(2日間コース)

*この分科会は基礎をじっくり学ぶ2日間で1プログラムの分科会となります。

A-3 イマドキの学生、エンパワメントできるの??～学生・地域・大学の共鳴をめざそう～

A-4 新しいボランティアコーディネーションへの挑戦 ～具体的な事例の、相互に検証を通して～

A-5 ボランティアコーディネーションの新しい「評価」を発信しよう!

A-6 脱!!お手軽コーディネート ～見えないリスクと向き合おう～

A-7 学校の課題は地域の課題 ～今こそ!先生とコーディネーターの真の連携を～

A-8 異なる立場の人との合意形成をどう創り上げるか

～テーマ型組織&地縁型組織&コーディネーターの良好な三角関係づくり～

A-9 知らないうちに陥る活動の罠・ボランティア力を正しくつなぐためのスケールづくり

～潜在化したリスクをキャッチしていますか?～

A-10 ボランティアコーディネーター・エネルギー充電・充填ステーション!～ボヤキをやる気へ～

A-11 「新しい支え合い」ってな～に! ～市民主体の本当に「新しい支え合い」に向けて～

17:00 1日目プログラム終了

17:30 懇親会(有料、希望者のみ・・・ビュッフェ形式 4,000円)

19:30 懇親会終了

3月1日(日)《第2日目》

9:00 開場

9:30 **分科会B**

B-1 ボランティアマネジメントAtoZ(2日間コース)～それってみんなは具体的にどうしてるの?～

*この分科会は基礎をじっくり学ぶ2日間で1プログラムの分科会となります。

B-2 中間支援組織のボランティアコーディネーションAtoZ(2日間コース)

*この分科会は基礎をじっくり学ぶ2日間で1プログラムの分科会となります。

B-3 ボランティアコーディネーターの働き方設計 ～自立と継続できる環境を考える～

B-4 これからのボランティアセンターの具体的な提案を考える

～今!直面している課題を乗り越える社協ボランティアセンターとは?～

B-5 地域活性化!限界集落でのボランティアコーディネーション ～外のボランティアパワーを活かせ!～

B-6 病院ボランティアにおける「コーディネーション力」と「リーダーシップ」のバランス

～事例に学ぶ、支援とコーディネートの実際～

B-7 「係わりにくい」と思った方への相談対応をふりかえってみませんか?

～活動紹介アセスメントシートづくりを通して～

B-8 学びの現場を支えるボランティアコーディネーションの可能性

～分野を超えたネットワークでコーディネーションの質を高める～

B-9 現場にとどけ ボランティアのチカラ ～社会福祉施設での受け入れ効果を可視化する～

B-10 記録を見直す ～どんな記録用紙で受けとめていますか?～

B-11 発達しょうがいのある若者を地域・商店街でコーディネートする～地域のネットワークづくりのために～

B-12 ファンドレイジング道場 ～コーディネーターのための市民の「募金力」UP講座～

13:00 昼食休憩

14:00 クロージング全体会「超えるコーディネーション」の向こう側 ～2日間の研究協議の成果を振り返りながら～

15:30 全プログラム終了

15:45 日本ボランティアコーディネーター協会通常総会 *会員以外の方でも自由に傍聴できます。

17:30 終了

●申込み方法●

① JVCC2009 のブログ内(<http://blog.canpan.info/jvcc2009/>)から申込みできます。申込締切は2月7日(土)です。《必着》

※分科会の詳細がわかる開催要項をご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

※締切日前に定員に達した場合は、その時点で締切とさせていただきますので、お早めのお申込みをオススメします。

② 参加申込書を受取後、入金の手続きについてのご案内をお送りしますので、参加費等をお振込みください(入金は銀行振込となります)。入金を確認できた時点で正式な受付といたしますのでご了承ください。(ご入金後は原則として返金できませんのでご了承ください)

